

一 奉りおはせの復帰工場の雇ひ見舞状を差出す

五月二十九日 二名 累計二百二十一名

一 出勤工身 二百三十九

一 林七の捕らえ工場の回題円満に解決す

一 午後一時から定時終至總會 円儀

一 松甚まの三月月の取決下さる

五月二十九日 一名

一 復帰工身 一名

一 出勤工身 二百三十七名

一 帝國製紙 日車形は三三九九葉 中村冰糖

飯田製紙 鈴木紙機 古洋夕介の七名社

五月二十八日
解散通知書
發送
の推定と察し
協会の
協会の
協会の

の職工代表を別に仲達を指さす

一 本協工身代表未祀 社名工場名社支配人の面会従来

の十二ヶ條の要請條々の外に 本協中の日給支拂はる可

きより解を登通知を取扱さるべきことの二ヶ条を加之

西女おしえの對し従来十二ヶ条は本協会と身と切

るなり相方考案するに二ヶ条は應が難と拒絶す

一 来るる五日に於て復帰せざる者は 本協に在る

最高級の熟書 未復帰者工身に對し送す

一 午後三時三十分の解散宣言は 本協團司令部より

班誌所の大塚を起し 團員に應援を九十九名

を檢束す 幹事は協会の檢束するが三回